

第 55 回 北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会

開 催 要 項

1	日 時	<p>平成 31 年 3 月 9 日 (土)・10 日 (日)</p> <p>① 女子 受付 3 月 9 日 (土) 8:00 ～ 各会場 開始式 8:45 ～ 〃 競 技 受付終了後 〃 閉会式 競技終了後 湿原の風アリーナ釧路</p> <p>② 男子 受付 3 月 10 日 (日) 8:00 ～ 各会場 開始式 8:45 ～ 〃 競 技 受付終了後 〃 閉会式 競技終了後 湿原の風アリーナ釧路</p> <p>※開会式は男女共行いません。各会場での開始式のみになりますので、後日連絡される各会場に集合してください。</p>
2	会 場	<p>①湿原の風アリーナ釧路（釧路市広里 18 番地） 木床 4 面使用 TEL0154-38-9800</p> <p>②釧路町総合体育館（釧路町別保原野南 23 線 105-2）木床 2 面使用 TEL0154-37-6665</p>
3	主 催	北海道ソフトテニス連盟
4	主 管	釧路ソフトテニス協会 北海道ソフトテニス連盟高校部
5	種 目	(1) 男子ダブルス (2) 女子ダブルス
6	大会使用球	ケンコーボール
7	競 技 方 法	<p>(1) 7 ゲームマッチによるトーナメント</p> <p>(2) 組み合わせは、北海道ソフトテニス連盟高校部で決定する。</p> <p>(3) ルール等は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）ソフトテニスハンドブックによる。</p> <p>(4) 審判は第 1 試合はシードペアとし、次試合より前試合の敗者ペアとする。</p> <p>(5) 試合の進行状況等により、競技方法、会場および審判の変更をすることがある。</p>
8	参加資格等	<p>(1) 日連公認審判員制度の有資格者であること。ただし、道連公認審判員 3 級有資格者でも同様の資格として扱う。</p> <p>(2) 本大会出場の資格を得た者であること。</p> <p>(3) 男女共、次により割当とする。</p> <p>① 原則として支部登録会員 30 名に 1 組を割当ててるが、前年度本大会の出場枠に準ずるものとする。</p> <p>② 複数の支部で地区予選を実施の時は、支部割当数の合計数とする。</p> <p>③ 支部設置基準の高校生の登録のない支部は出場できない。</p> <p>④「第 48 回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会」上位 2 組。</p> <p>⑤開催支部 4 組。</p> <p>⑥上記により、不足組数が生じた時は、別途推薦補充する。</p> <p>(4) 平成 12 年 4 月 2 日以降に生まれた高校 1・2 年生とする。 ただし、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年の出場は 1 回限りとする。</p> <p>(5) 引率責任者は当該校の教員とする。ベンチ入り指導者は学校長の認めた教職員とし、2 名まで認める。なお、出場ペア数が 1 ペアの場合は 1 名とする。ただし、引率責任者とベンチ入り指導者が同一者の場合は教員とする。</p>

9	申込期限	平成 31 年 2 月 14 日 (木) ※大会申込みシステムにより申し込む事。また、期限までに参加料の入金も済ませていること。
10	参加料	参加料 1ペア 2,500 円 (当該年度の日連会員登録制度登録者) ※日連会員登録制度未登録者 (当該年度の登録をしていない者) は、一人につき 1,100 円の参加料を加算する。 ※注意：当該年度とは、大会開催月日における年度を指すので注意すること。
11	申込方法	日本連盟、会員登録システム (メニュー画面の支部大会申込み画面) より申込してください。参加料もシステムで行い、入金してください。 注意：同一団体から複数の選手が申込みの場合は、団体 (チーム) 毎に取りまとめのうえ、選手を入力してください。
12	参加選手 指導者 留意事項	(1) 所定の時刻までに受付を完了し、開会式には、必ず出席すること。 (2) 日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。 (3) ラケット (公認マーク添付)、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用 (着用) し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用基準」を遵守すること。なお、インドア大会のため、テニスシューズの汚れ、砂等が屋内に入ることのないよう綺麗にし、会場入口で点検を受けて下さい。 (4) 日連会員登録証 (登録会員)、公認審判員ワッペン及びイエローカードを携帯し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。 (5) ベンチにはベンチ入り指導者 1 名と選手 2 名の計 3 名のみ入ることができる。 (6) 競技場ではベンチ入り指導者もテニスの服装であること。 (7) 優勝者は必ず [持ち回り優勝杯] を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って返還すること。 (8) 宿泊の斡旋はしませんので、各校早めに手配して下さい。 (9) 許可された場所以外ではボールを打たないで下さい。 (10) ごみ等の後始末は各校が責任をもって行って下さい。 (11) 本大会上位の選手には、平成 31 年度の高スクールジャパンカップ 2019 ダブルスの部南・北 北海道予選大会の出場権が与えられます。